

# 愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2024年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	アジア経済論		
担当者(Instructors)	金 良泰	配当年次(Dividend year)	2
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

<b>■ 授業の目的と概要(Course purpose/outline)</b>			
<p>アジアは、いまや世界の激動の中心地である。世界の大半の人口がここに集中し、世界の全GDPのおよそ3分の1を占めている。また、消費財のほか多数の分野で世界ランキング上位を占め、世界の経済、ビジネスを左右するスケールと影響力を持つに至ったアジアの強大企業も多く存在する。本講義は、中国、香港をはじめ、韓国、台湾、東南アジア諸国、インドなど、アジア経済・アジア企業の実態をビジネスモデルごとに解説する。</p>			

<b>■ 授業形態・授業の方法(Class form)</b>	
授業形態(Class form)	講義
授業の方法(Class method)	対面授業と学生のプレゼンテーションを交えて行う。

<b>■ 各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)</b>			
回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	オリエンテーション	本科目の紹介、講義の進め方、成績評価などを説明する	<input type="checkbox"/>
第2回	日本とASEAN(1)	ASEANの加盟国の基本データを学び、日本とASEANの関係について理解する	<input type="checkbox"/>
第3回	ASEAN経済と日本	ASEANに進出した日本企業の現状について学ぶ(ASEAN生産シフト、卸売業、サービス業など)	<input type="checkbox"/>
第4回	東アジア経済発展とそのメカニズム(1)	東アジアの経済発展の歴史とそのメカニズムについて学ぶ	<input type="checkbox"/>
第5回	東アジア経済発展とそのメカニズム(2)	東アジアの経済発展の歴史とそのメカニズムについて学ぶ	<input type="checkbox"/>
第6回	東アジアにおけるグローバル・バリューチェーン(1)	製造業の国際分業の一形態であるGVCが東アジア地域で盛んになった背景とその高度化戦略について学ぶ	<input type="checkbox"/>
第7回	東アジアにおけるグローバル・バリューチェーン(2)	製造業の国際分業の一形態であるGVCが東アジア地域で盛んになった背景とその高度化戦略について学ぶ	<input type="checkbox"/>
第8回	学生によるプレゼンテーション	アジア経済にかかわるテーマを選び、プレゼンテーションを行う	<input type="checkbox"/>
第9回	受託生産 - エレクトロニクス産業のゲームチェンジャー(1)	台湾のTSMC、EMS(フォックスコン)、ODM(クアンダ)企業について理解する	<input type="checkbox"/>
第10回	アジアのファブレス-進化する川上企業、川下企業	エイサー(台湾)、シャオミ(中国)、メディアテック(台湾)企業について学ぶ	<input type="checkbox"/>
第11回	垂直統合 - シナジーを生み出す事前主義の復活(1)	サムスン電子(韓国)、BYD(中国)について学ぶ	<input type="checkbox"/>
第12回	垂直統合 - シナジーを生み出す事前主義の復活(2)	ファーウェイ(中国)、OPPO(中国)、メインバンク・イスラミック(マレーシア)	<input type="checkbox"/>
第13回	新興国企業が先進国企業を飛び越す	メッセージングアプリ・ネイバー(LINE開発を主導)	<input type="checkbox"/>
第14回	学生によるプレゼンテーション	学生によるプレゼンテーション	<input type="checkbox"/>
第15回	講義のまとめと最終論文の提出	3,000字程度の論文を提出する	<input type="checkbox"/>

<b>■ 授業時間外学習(予習・復習)の内容(Preparation/review details)</b>	
【事前学習】次回授業の内容および課題の遂行(約2時間) 【事後学習】授業内で学んだ内容を再確認し、課題を遂行する(約2時間)	

<b>■ 課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)</b>	
授業前後に質問を受ける。	

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)		
区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
思考力・判断力・表現力	◆ 2021地域ビジネスDP2	日本のASEAN進出を機とした東アジアの工程間分業の進展、日本企業のビジネススタイルの変化、グローバルバリューチェーンの変化などの影響から今後の日本企業・産業が目指すべき方向性について考察・分析する。まとめた内容はプレゼンテーションを行い、情報交換する。

■成績評価(Evaluation method)				
筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			60%	40%
<b>授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)</b> 授業内試験(60%)は、中間テスト(30%)、期末テスト(30%)となる。 その他(40%)は、レポート、授業参加・貢献度などを総合的に判断して評価する。				

■テキスト(Textbooks)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	後藤健太(2019), 『アジア経済とは何か』、中公新書	9784121025715
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	国際時事アナリスト(2021), 『アジア29ヵ国のいまが分かる本』	978-4-309-48566-9
2		
3		
4		
5		